

全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

箕面の教育

岡学校教育室 ☎724・6761 FAX724・6010

国では毎年4月に、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、全国学力・学習状況調査を実施しています。今回は、今年行われた全国学力・学習状況調査の結果をもとに、箕面の子どもたちの「強み」と「課題」についてお知らせします。

全国学力・学習状況調査とは

学力調査は、小学校では国語、算数の2教科、中学校では国語、数学、英語の3教科で行われます*。また、学習状況調査は、学習意欲、学校環境、生活習慣などについて、アンケート形式で児童・生徒から回答を求めるものです。

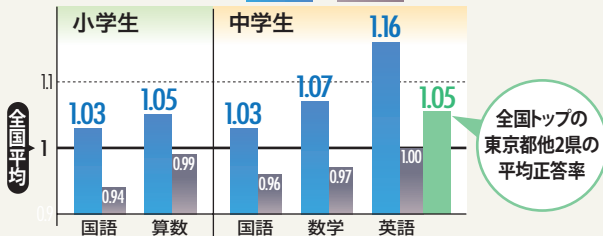
※国語、算数・数学は、これまで基本的な知識を問う問題④と、知識を活用する力を問う問題⑤に分けられていましたが、今年度から④と⑤の区分がなくなりました。また、中学校の英語が、新たに加わりました。

箕面の子どもたちの 強み

小・中学校ともに、全ての教科で全国及び府内平均を上回りました

小・中学校ともに、全ての教科で全国及び府内平均を上回り、特に中学校の英語は、都道府県別で全国同率トップの東京都・神奈川県・福井県を大きく上回りました。

全国の平均正答率を1とした **箕面市** と **大阪府** の平均正答率

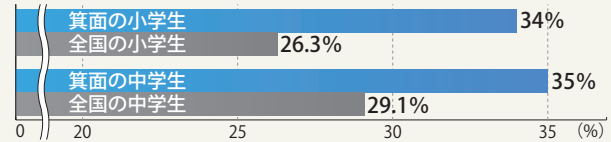


課題を解決するために、話し合いをする習慣が身に付いています

「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した子どもが、小・中学生ともに全国を上回りました。

課題に対して話し合いを行い、友達の意見を取り入れながら解決方法を見つける活動が、小学生の頃から積極的に行われていることが分かりました。

「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」という問いに、「思う」と答えた子ども



学校では 電子黒板やタブレットを活用して、子どもの学習への興味を高め、思考力・判断力を育てています

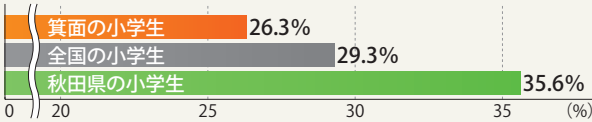
全小・中学校の全クラスに電子黒板を導入し、さらに昨年9月からは小学4年～6年生全員にタブレット端末を1人1台配備しています。資料の配付・回収の時間などを短縮することで、子どもたち一人ひとりの考える時間を多く確保できるほか、クラス全体で問題に取り組んだり、意見交換する機会が増え、友達の意見を取り入れながら個々の考えを深めることができます。

箕面の子どもたちの 課題

小学生の「漢字を活用する力」に課題があります

小学校の「漢字を文の中で正しく使う」問題の正答率が、全国平均を3ポイント下回りました。全国トップの秋田県と比べると10ポイント近く下回り、「漢字を活用する力」に課題があることが分かりました。

国語で出題された「漢字を文の中で正しく使う」問題の正答率



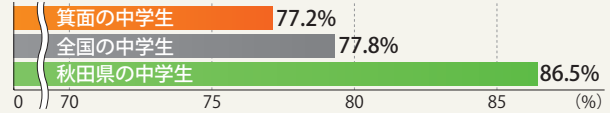
学校では 子どもの漢字への興味を高めるとともに、漢字を正しく使う力を育てていきます

授業開始前の朝の時間などを利用して、漢字の成り立ちについて調べたり、同じ部首の漢字を1分間に何個書けるかななどのゲームを行い、子どもの漢字への興味を高めます。また、国語の授業では、漢字ミニテストなどを通して評価の機会を増やし、学習した漢字を正しく使う力を育てます。

中学生の「書く力」に課題があります

中学校の「伝えたい事柄について根拠を明確にして書く」問題の正答率が全国平均を下回り、全国トップの秋田県と比べると10ポイント近く下回っていることが分かりました。根拠を明確にして自分の考えを書く力に課題があります。

「伝えたい事柄について根拠を明確にして書く」問題の正答率



学校では 自分の考えを書く機会を増やし、子どもたちの「書く力」を育てていきます

授業では、話し合いや振り返りの場面で、子どもたちが自分の考えを文章にまとめて、発表する機会を増やします。また、新聞記事などからテーマを設定し、感じたことや考えたことを作文する活動を積極的に取り入れ、根拠を明確にして自分の考えを書く力を育てていきます。

箕面の子どもたちの課題を解決するために

ご家庭でのご協力もよろしくお願いします!

親子で一緒に年賀状や手紙を書く、旅のしおりを作るなど、ご家族で文章を書く時間を作ってください

親子で田舎のおばあちゃんに年賀状や手紙を書く、旅行の計画を立てて旅のしおりを作る、交換日記をつけるなど、親子で一緒に文章を書く時間を作り、日々の習慣にしてください。また、お互いの文章を読み合う中で、使い方が誤っている漢字や、子どもが興味を示す漢字があったら、一緒に正しい使い方を確認したり、漢字の成り立ちなどを調べてみてください。